

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使用してほしいと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 出生後しばらくして呼吸障害が顕在化した成熟児の臨床的特徴に関する後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2013年4月1日～2023年3月31日までの期間に浜松医科大学医学部附属病院周産母子センターにおいて出生した 在胎36週以上かつ出生体重2,300g以上の方 約5700名
	●研究の目的 新生児は出生後に呼吸障害が認められた場合、新生児特定集中治療室（以下、NICU）に入院する必要があります。しかし、出生直後は認められなかった呼吸障害が出生後しばらくして顕在化する症例もときに存在し、そのような症例における頻度や原因、病態などについては不明な点が多いです。この研究では、出生直後に呼吸障害が認められなかったが出生後しばらくして呼吸障害が顕在化したためにNICUに入院した新生児の頻度や患者背景、出生後経過などについて、正常新生児と比較しながら検討することを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2026年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、検査所見 等

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学医学部附属病院周産母子センター 瀬川祐貴</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学医学部附属病院周産母子センター 瀬川祐貴</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 部署名： 周産母子センター 担当者： 瀬川祐貴 TEL： 053-435-2111 E-mail： yusegawa@hama-med.ac.jp</p>